

町の考えを問う！

10議員が登壇

6月定例議会では10名の議員が一般質問を行いました。

その中から主な質疑応答の要旨を、質問した議員の要約により掲載します。

なお、会議中の発言および答弁の詳細は、伊奈町議会ホームページおよび図書館に備えてある会議録でご覧になれます。(ただし、6月議会分は9月初旬の掲載になります。)



伊奈町議会ホームページ

<http://gikai02.kaigiroku.jp/ina/>

議員氏名	質問事項
佐藤 功 (9ページ)	1 交通安全対策について
	2 住民サービスの向上について
永末厚二 (9ページ)	1 合併について
	2 介護保険事業の地域支援事業について
大沢 淳 (10ページ)	1 障害者自立支援法の問題点と町内障害者への影響と対策
	2 小児救急医療の充実を
	3 (新)北保育所の保育内容と多機能型保育の取り組み。 その他、保育行政と保育内容の充実
	4 公園空白地域の解消と公園の充実と改善を
青木久男 (10ページ)	1 物を大切に作る心について
	2 循環バスについて
	3 自治基本条例について
	4 町営住宅について
永沼時子 (11ページ)	1 生ごみ収集対策について
	2 人と動物が共生する地域づくりを

議員氏名	質問事項
金子利作 (11ページ)	1 安全、安心のまちづくり、子ども達を犯罪から守るために
	2 ウニクス開店に伴う交通安全対策について
	3 町営住宅の建設について
鳥井文典 (12ページ)	1 町における交通網の充実について
	2 記念公園内中央部の排水路について
	3 外出困難な高齢者・障害者への行政サービスについて
荒井敏男 (12ページ)	1 食品衛生法の改正により、ポジティブリスト制が導入されたが、町の指導は
村山正弘 (13ページ)	1 障害者自立支援法施行後の施策について
	2 指定管理者制度導入について
大谷保雄 (13ページ)	1 違反広告対策について
	2 AED設置について

交通安全対策について

今年度中には

道路整備に着手する



さとういさお
佐藤功 議員

交通安全対策について

問 県道上尾久喜線で羽貫駅東側が未整備だが、早急に整備を。

答 埼玉県伊奈新都市建設事務所の報告によると、今年度中には道路整備に着手する。

住民サービスの向上について

問 ショッピングセンター、ウニクスに郵便ポストの設置を。

答 上尾郵便局の報告によると、近日中にポストを設置する。



今年度整備予定の県道上尾久喜線



手作り教室ボランティア

伊奈町も県の指導により合併新法期間に、合併すべきと思うかどうか

基本的には必要と思うが、現時点では時期尚早



ながすえこうじ
永末厚二 議員

問 今こそ、伊奈町単独で独立をするか、合併で自立都市を創造するか、選択の時期だ。

平成22年度が限度の場合

併新法により合併を推進すべきではないか。どちらを選択するにしても、町長の考えを町民に問うべきでは。

答 市町村合併は、現在の社会情勢において基本的に必要、合併は住民主体であるべきものと考えている。しかし、現状では、合併の協議などがすぐに始められる状況にはない。国や県、他市の状況を見て慎重に対応したい。

介護保険の地域支援事業計画の進捗状況は

問 今回改訂の目玉は、介護予防事業と包括的支援事業だ。介護予防や、高齢者の生きがい等尊厳を守り、住み慣れた伊奈町で、暮らし続けられる道を見出していく事業である。一年遅れた分だけ良いものとしてほしいが、計画の進捗は。

答 町内関係課及び関係機関と協議を進めている。今後、近隣の状況等を十分調査した中、より良いものを求めていく。地域包括支援センター等、新たな取り組みは、高齢者を始め関係者の方々が混乱しないよう、努力したい。

小児救急医療体制の確立を

10月開始を目指している



おおさわ じゅん
大沢 淳 議員

障害者自立支援法の 影響と対策

問 障害者自立支援法による負担増に対して町独自の軽減措置を。

答 低所得者に配慮した部分もある。

問 障害者福祉計画は障害者や家族、事業所の意見徴集を積極的に。

答 アンケート調査を実施する。

新しい北保育所と 多機能保育

問 新しい保育所は保護者、保育士が中心となった体制で検討を。

答 保育所と連絡を密に協議し、保護者会からも



(仮称)新北保育所建設予定地

意見、要望を伺っている。
問 子育て支援センターは「参加しやすさ」を。

答 誰もが気軽に集える子育て支援の拠点施設として考えている。
問 障害児通園室は充実した職員配置を。
答 利用に応じた職員配置をしたい。
公園空白地域の解消を
問 柴中荻、志久、丸山など農村地域にも公園を。
答 区画整理事業地内の公園の整備完了後、検討したい。



役場庁舎

財産管理の基本的考えは

自分のもののように
大切に扱えと言っている



あおき ひさお
青木久男 議員

問 公共物を丁寧に長く使用していくことは、町民から預かった財源を有意義に使う方策の一つだ。財産管理についての心得

ならびに当局の考え方はどうか。
早めの補修で劣化を防ぐことも大事だ。
一例だが、役場内でも

雨漏り跡や屋根の錆が目立つ建物がある。どう対処するのか。
答 就任時から物を自分のもののように扱えと言っている。指摘の件には適切に対処する。
循環バスについて
問 基本的には交通弱者の交通の便を考えてのものと思う。
もっと細かく回って利用者の期待に応えるべきだ。
答 どんな形がいいのか検討している。
自治基本条例について
問 平成13年4月施行のニセコ町づくり基本条例を皮切りに、自治基本条例なるものを制定する自治体が増えている。
当町でもいわゆる自治体憲法とも言われる自治基本条例を制定し、地方分権をいっそうゆるぎないものとするべきだがどうか。
答 今後の検討課題になる。

生ごみ回収の充実を



ながめときこ
永沼時子 議員

当面の対応と環境衛生に努める

問 再資源化等推進され、一人ひとりのごみの排出量は減量されてきている

答 年々の人口増によって全体量は増大するばかりである。近年収集時間がだんだん遅くなってきて、午後

早い時間の生ごみ回収を



クリーンセンター

2時頃になっても集積所に生ごみが山のようになっている。衛生面、街の美観にも良くない。改善を求めらるが。

答 南北に分け週2回、5台のパッカー車で午前8時から午後4時頃までの回収を行っている。

近年、北地区の人口の伸びが多く、北地区が30分程遅くなってきている状況である。

根本的な解決策は委託料の増加となり、当面は、散乱防止に努めながら可能な限りの対策を図る。

人と動物が共生する社会を

問 皆が暮らしやすい地域社会の構築のために、犬の飼い主のマナー向上、犬の健康維持、飼い主同士のコミュニケーションなどを図る場としてのドッグランの設置を。

答 設置には公益性が見込めるかどうかであるが、まだまだ未知な部分もあり、今後、調査研究する。

子どもを犯罪から守る

強力な地域組織を

地域の情報交換活動の拠点として北地域に防犯センターを設置



かねこりさく
金子利作 議員

犯罪は、現代社会が抱える深刻な病理現象の一つだ。

町も通学路の点検、下校時の見守り、地域との連携も強化されてきている。

また、校内でも不審者の侵入を防ぐための防犯カメラの設置や防犯マニュアルの作成、研修も強化されているが問題もある。

問 防犯教育の現状は、子ども自身の防犯能力を身につけさせることが主眼となっている。

「知らない人から声を掛けられても付いていかない」、「車に連れ込まれそうになったら大声をあ

対応であり、人間不信にならないよう対処していく。

問 地域住民の協力を得て、強力な防犯組織の確立が何よりも重要だ。対策は。

答 北地域に防犯拠点センターを設置し、情報交換、活動の交流の場として活用をしたい。

問 ウニクス開店に伴い交通量が増加している。小針中北側に信号機の設置を。

答 設置に向け、公安委員会と折衝をしている。



南部地域の防犯拠点 安心安全ステーション

町内バス路線 さらなる充実化を

苦慮しているが、
より利便性向上に努めたい



とりいぶんてん
鳥井文典 議員

問 町内循環バスと民間バスのさらなる充実化を。
答 町民の利便性向上のため、引き続き努力していきたい。

問 循環バスの一台増車は。
答 苦慮しているが、十分研究し、より良いものを求めたい。

記念公園内
排水路改修を

問 今後の整備計画は。
答 平成17年度に公園中央の園路地下に雨水排水用のボックスカルバートを敷設し、既存の排水路は必要なくなった。今年度排水路の撤去と覆土を



町内循環バス いなまる

行い、歩行者専用道路に整備していきたい。
問 せせらぎに改修し、ホタルの飛び交う親水施設に。
答 可能性も含め、検討

問 居宅玄関先へのふれあいごみ収集の実施を。
答 町社協で一部実行している。社協と調整しながら現行のサービスのさらなる充実と向上を目指し、対応したい。

していきたい。

外出困難な高齢者・
障害者への行政サービス充実を

問 住民票や各種証明書等を希望に応じ、宅配サービスを。
答 現状行っている郵送による請求を推進していきたい。

食品衛生法の改正によりポジティブ
リスト制が導入されたが、町の指導は

ポジティブリスト制度の
説明に関しては、全てJA上尾市
と共同で行っている



大型防除機による農薬散布



あらいとしお
荒井敏男 議員

問 生産者への農薬取り扱いについての指導は。
答 各生産組合に対して
総会や、役員会の会議において、また、農家に対しては、JA上尾市と共

同で生産者説明会を開催し、周知している。

問 隣接している他の農産物への防除指導は。
答 隣接農地の所有者と話し合いをして、収穫時期等を確認しながら作業を行ってほしい。

隣接する農産物でも使用可能な農薬を使う。

問 飛散を防ぐための各種対策は。
答 隣接農地への影響を最小限にとどめるには、作業効率は悪くなるが、果樹園の外周部では極力圧力を抑えた作業、及び人力噴霧器による作業をしている。

問 基準値をオーバーした時の罰則があるのか。
答 市場に出ている場合は自主回収をする。対応を怠った場合は、県が回収命令を出す。違反事例の公表については、埼玉県生活衛生課のホームページで公表される。



町立図書館

障害者自立支援法施行に伴い
自立支援に全庁的取り組みをすべきだ

障害者が地域で安心して暮らせる
社会の実現のため取り組み



むらやままさひろ
村山正弘 議員

自立支援法施行後の
施策

問 伊奈町の人口規模で
障害者の自立支援をする

答 には、グループホーム形
成を助成すべきだ。これ
をベースに支援事業創出
に取り組むべきだ。
訓 自立支援法では、訓

練等給付に位置づけられ
ている。

10月からの新サービス
の中で今後のニーズをみ
ながら検討していく。

問 町として、障害者の
雇用促進を企業に積極的
に働きかける施策を打ち
出すべきだ。

答 就労を希望する障害
者の相談等に力をそそ
ぎ、企業の協力を仰ぎ、
一人でも多くの就労に結
びつけていく。

指定管理者制度の導入

問 平成19年度末までに
指定管理者制度に3施設
が移行する計画である
が、どの施設が考えられ
るか。

答 町は、指定管理者制
度導入検討委員会等で検
討している。本制度を導
入する候補としては、保
育所、図書館、ゆめくる、
総合センターだ。

問 町職員の平成21年度
までの削減計画は何人
か。

答 現在の304人を15人減
で計画している。

違反広告対策について

他市町村の今後の動向を
考慮し検討する



おおたにやすお
大谷保雄 議員

問 町の違反広告に対す
る対応は。

答 はり紙・立看板等の
除却は県から委任を受
け、違反立看板等を除却
標準実施要綱を定め、除
却を実施した。平成17年
度、約1200件除却し
た。

問 住民参加による、簡
易除却ができるためには。

答 県は市町村に住民と
行政が連携して、はり紙
等の違反広告物の除却を
行う簡易広告物除却推進
員制度を定め、推進して
いる。平成17年、県内15
市町が導入し、10市で住
民による簡易除却が実施
された。

問 簡易除却制度の創設
は。

答 実施の方法、参加者
の安全等を考え、現在実
施している他市町村の動
向を考慮し、検討する。



交差点・通学路にある違反看板

AED自動体外式除
細動器の設置が全国
的に広がっている。
町の設置状況は

答 施設では、消防署2
台、総合センター、ゆめ
くる1台ずつ。町内では
学校2台、病院1台、企
業1台が設置された。今
年度、人の集まる所に順
次設置していく。

問 AEDの講習を受け
た人数は。

答 5月31日現在、309名